



市議会だより

宇都 市 うん なん

No.79

2025.10

都市在住者との交流事業
田舎米づくり体験



9月定例会

補正予算可決

補正後総額

321億4,918万円

令和7年9月定例会を9月4日から29日までの26日間の会期で行いました。
条例その他11件、予算5件、認定7件、諮問4件、報告8件が上程され、慎重に審議した結果、
原案通り可決・認定しました。

陳情1件は全会一致で採択し、請願1件は賛成少数で不採択としました。また、議員発議1
件が提出され全会一致で可決、意見書を国会及び政府に提出しました。

●有害鳥獣捕獲奨励事業

2,226万円

(捕獲頭数見込み増による報奨金の増額・
緊急銃猟(熊)対応に伴う物件費)



イノシシ檻の見回り



ソフトボール屋内練習場予定地

●国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会事業

1,281万円

(木次艇庫をソフトボール屋内練習場へ整備)

福間 守	石原 忍	廣野 祐二	渡辺 重光	高橋美佐子	多賀 法華	安田 栄太	梶谷 佳平	上代 和美	中林 孝	中村 辰眞	矢壁 正弘	佐藤 隆司	原 祐二
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	○

令和7年度9月

一般会計補正予算(第3号)

補正額

4億5,000万円



リサイクルプラザ（不燃物処理施設）

- 雲南圏域廃棄物処理施設整備準備事業

594万円

（次期一般廃棄物処理の再検討に係る委託料）

- 就業環境等物価高騰対応支援事業

1,530万円

（物価高騰の影響を受ける事業者の就業環境等改善支援）



市内の製造工場

採決結果

（議案で賛否の分かれたもの）

9月定例会分 議長は採決に加わりません 「○」・・賛成 「●」・・反対

議 案 名	採決結果	竹部 貴博	原 良太	吾郷 希穂
令和7年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○
令和6年度雲南市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○
令和6年度雲南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○
令和6年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○
選択的夫婦別姓制度導入を求める意見書の提出についての請願	不採択	●	●	●

令和7年度主な補正予算(一般会計)

(単位：千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
自治体DX推進事業	自治体DX専門人材（2名）公募配置のため、委託料と負担金補助及び交付金の増。	3,293	3,385	拡充
土地開発基金積立金	神原企業団地2期B工区元金積立金 12,211千円。 神原企業団地2期B工区利子積立金 2,789千円。	15,000	17,586	
市税還付金	市県民税過年度分及び配当割額還付等の増。	9,800	17,450	
雲南圏域廃棄物処理施設整備準備事業	次期一般廃棄物処理の再検討に係る支援業務委託料。	5,940	7,384	拡充
保育所施設修繕事業	大東保育園保育室空調設備更新工事、加茂こども園及び斐伊保育所受変電設備修繕等に伴う増。	9,495	37,549	
私立保育所総務管理事業	入所児童数増加に伴う増。	12,115	31,474	
有害鳥獣捕獲奨励事業	捕獲頭数見込み増による報奨金の増額。 緊急銃猟（熊）対応に伴う物件費。	22,263	64,164	拡充
明石緑が丘公園管理事業	ゲートボール場屋根修繕工事、伝習館屋根修繕工事。	4,950	32,285	
就業環境等物価高騰対応支援事業	物価高騰の影響を受ける事業者の就業環境や職場環境の改善に向けた設備導入、改修、備品購入等を支援。	15,300	15,300	新規
宿泊・観光消費喚起物価高騰支援事業	市内宿泊者を対象とした宿泊時及び市内観光施設等で使用できる観光券の販売事業。	6,660	18,530	拡充
観光施設整備事業	資材高騰、工法変更等に伴う龍頭が滝橋梁改修工事費の増。	4,163	10,171	
農地有効利用支援整備事業	農作物渇水・高温対策へのポンプ借上げ経費等の補助金。	3,000	9,700	拡充
道路維持補修事業	市道維持補修等。	35,000	58,044	
河川維持管理事業	市河川土砂撤去工事、維持修繕。	10,000	15,000	
現年農地災害復旧事業	R7発生農地災害復旧工事。	20,000	25,000	
現年農業用施設災害復旧事業	R7発生農業用施設災害復旧工事。	23,000	31,000	
菅谷たたら山内防災整備事業	避雷設備新設工事に係る工事請負費の増。	4,000	24,951	拡充
児童生徒タブレット活用推進事業	小規模校の遠隔教育環境の整備。市内中学校への高機能PC・周辺機器の整備。	3,234	50,951	拡充
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業	木次艇庫をソフトボール屋内練習場とするため県ソフトボール協会と連携して整備。	12,813	13,889	拡充
木次艇庫管理事業	木次艇庫のトイレ改修、照明取替（LED化）工事、網戸設置、シャッター修繕を行う。既存保管庫、艇庫内ローイング艇を尾原艇庫へ移転。	6,776	6,776	新規
飯石交流センター管理事業	飯石交流センター集会室空調更新工事。	3,870	5,382	

令和7年9月定例会

議案 請願・陳情 審査結果

条 例	採択結果	採択状況	条 例	採択結果	採択状況
雲南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例 ・人事院規則及び地方公務員の育児休業等に関する法律の改正等により、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認の実施や部分休業制度の拡充等、必要な措置を講じるため、条例を改正するもの。	可決	全会一致	雲南市病院事業管理者の給与の特例に関する条例の制定 ・市立病院での非違行為により、病院事業管理者の10月分給料を10分の1減額することについて、特例に関する条例を制定するもの。	可決	全会一致
雲南市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・児童福祉法の規定により、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準について、内閣府令で定める基準を基に条例を制定するもの。	可決	全会一致	一般事件 公共土木施設災害復旧事業多久和六重線道路施設災害復旧工事請負契約の変更 ・公共土木施設災害復旧事業多久和六重線道路施設災害復旧工事請負契約の金額を変更するもの。	可決	全会一致
雲南市病院事業等に関する条例の一部を改正する条例 ・病床数の変更に伴い、条例を改正するもの。	可決	全会一致	字の区域の変更 ・加茂町三代の一部字を神原に編入するもの。	可決	全会一致

一般事件	採択結果	採択状況
農業用施設災害復旧事業令和6年災第101／74号（道路）災害復旧工事請負契約の変更 ・ 農業用施設災害復旧事業令和6年災第101／74号（道路）災害復旧工事請負契約の金額を変更するもの。	可決	全会一致
教育施設等解体撤去事業掛合体育館解体工事請負契約の変更 ・ 教育施設等解体撤去事業掛合体育館解体工事請負契約の金額を変更するもの。	可決	全会一致
和解及び損害賠償の額を定めること ・ 加茂文化ホール大規模改修工事により発生した埋設電気配管および配線の損害に対し、和解及び法律上の義務に属する損害賠償の額を定めるもの。	可決	全会一致
令和6年度雲南市水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・ 令和6年度雲南市水道事業会計決算に伴う利益の処分について、議会の議決を求めるとともに、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの。	可決 認定	全会一致
令和6年度雲南市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・ 令和6年度雲南市下水道事業会計決算に伴う利益の処分について、議会の議決を求めるとともに、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの。	可決 認定	全会一致

予 算	採択結果	採択状況
令和7年度雲南市一般会計補正予算（第3号） ・ 補正額 450,000千円 ・ 補正後の額 32,149,177千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ・ 補正額 8,871千円 ・ 補正後の額 4,117,471千円	可決	賛成多数
令和7年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） ・ 補正額 17,113千円 ・ 補正後の額 1,290,113千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市下水道事業会計補正予算（第2号） 【収益的収支】 ・ 下水道事業収益 補正額 9,443千円 補正後の額 2,048,649千円 ・ 下水道事業費用 補正額 856千円 補正後の額 1,987,404千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市病院事業会計補正予算（第2号） 【収益的収支】 ・ 病院事業収益 補正額 9,681千円 補正後の額 5,295,214千円 ・ 病院事業費用 補正額 27,856千円 補正後の額 6,000,264千円 【資本的収支】 ・ 資本的収入 補正額 7,069千円 補正後の額 492,523千円 ・ 資本的支出 補正額 6,958千円 補正後の額 754,022千円	可決	全会一致

認 定	採択結果	採択状況
令和6年度雲南市一般会計歳入歳出決算認定 ・ 監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの。（以下同）	認定	賛成多数
令和6年度雲南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	賛成多数
令和6年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	賛成多数
令和6年度雲南市農業労働災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全会一致
令和6年度雲南市財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	全会一致
令和6年度雲南市工業用水道事業会計決算認定	認定	全会一致
令和6年度雲南市病院事業会計決算認定	認定	全会一致

諮 問	採択結果	採択状況
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 4件 ・ 市長が市議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦するもの。 蓮岡 徹さん（大東町） 景山 政子さん（木次町） 勝田 寛さん（木次町） 上田 浩さん（三刀屋町）	適任	全会一致

報 告
議会の委任による専決処分の報告 1件 ・ 法律上の義務に属する損害賠償の額を定めること及びその和解に関して、議会の議決により委任された事項について専決処分したもの。
経営状況の報告 4件 ・ 雲南市土地開発公社 ・ 雲南都市開発株式会社 ・ 株式会社キラキラ雲南 ・ 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団
市有林の信託に係る事務処理状況の報告 ・ 雲南市有林の信託に係る事務処理状況を議会に報告するもの。
令和6年度決算に基づく健全化判断比率の報告 ・ 決算に基づく健全化判断比率を議会に報告するもの。
令和6年度決算に基づく資金不足比率の報告 ・ 公営企業の決算に基づく資金不足比率を議会に報告するもの。

請願・陳情	採択結果	採択状況
選択的夫婦別姓制度導入を求める意見書の提出についての請願	不採択	賛成少数
木次方面隊西日登分団の集約型格納庫整備についての陳情	採択	全会一致

議員発議	採択結果	採択状況
選択的夫婦別姓制度の議論の促進を求める意見書 ・ 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を行うことを求める意見書の提出。	可決	全会一致

総務常任委員会

委員長 梶谷 佳平

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された4件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

人)。介護休暇は市職員の実績は無く、市立病院は1人。また、育児休業中や介護休暇中の補償は、島根県市町村職員共済組合から手当金の支給がある。



子育ての様子

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第3号)

①自治体DX推進事業 329万3千円は、雲南市のDX推進に向けて専門人材を追加配置し事務処理の効率化を進め、行財政改革の推進と市民

サービスの向上を目指すための人件費相当額(委託費及び負担金)です。

問 人手不足の中、どのようにして専門人材を確保し体制強化を図るのか。

答 専門人材の確保については、企業派遣型、または副業型で公募し、情報化統括責任者及びプロジェクトマネージャーとして配置する。全国的に人材確保は厳しいが、総務省の支援制度等を活用して優秀な人材確保に努める。

問 消防団員運転免許資格取得支援事業補助金7万円は、平成29年3月以降に普通免許を取得した団員を対象とした準中型免許取得支援のための予算です。

②消防団員運転免許資格取得支援事業補助金7万円は、平成29年3月以降に普通免許を取得した団員を対象とした準中型免許取得支援のための予算です。

問 免許取得者何人分の予算で、必要人数は何人か。

答 予算は1名分としており、取得費用の1/2を補助する。現在ポンプ車が12台体制のため、最低12名は必要である。

教育民生常任委員会

委員長 上代 和美

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された12件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

この条例は、令和8年度から子ども子育て支援法に基づく新たな給付制度を本市でも事業実施するため条例を制定するものです。

問 事業の実施に当たって、施設の改修は必要か。

答 この事業に専用の部屋は必要ないので、改修なしで事業を実施したい。

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第3号)

①社会福祉施設修繕事業 204万6千円は、入間コミュニティセンター中

庭建物斜材の老朽化に伴う取替修繕の予算です。

問 今回の修繕以外にも今後修繕が必要になってくるが、今後の施設のあり方についてどのような見通しをされているか。

答 今後の施設のあり方は、修繕を行いながら社協、地域、関連部局と協議していく。



修繕する建物斜材

②雲南圏域廃棄物処理施設整備準備事業594万円は、次期一般廃棄物処理のあり方を再検討するための支援業務委託料です。

委員会報告

問 再検討は突然に出されており、経過や検討内容はその都度議会に報告すべきで、議会や市民の意見を反映する必要がある。また、3施設（可燃・不燃・最終処分）の三位一体から分散整備はスケジュールの分散だけでなく、施設（場所）の分散も検討に入れるべきだ。

答 検討経過は都度議会に報告し、議会、市民の意見も参考に検討する。また、協議の中で施設の分散も含めて検討していく。

③ スクールバス管理事業550万円は、スクールバス修繕費及び登下校臨時運用の見込増によるものです。

問 登下校臨時運用の見込増は、何力所での程度あったのか。

答 増額の内訳は、加茂ラソnteプールの臨時便一部増額、海潮地区中学生の部活動参加者増でスクールバス使用が必要に

なったことや異常気象による時間割変更のため、

市民バス対応ができず臨時便が増加した。

産業建設常任委員会

委員長 安田 栄太

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された10件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・公共土木施設災害復旧事業多久和六重線道路施設災害復旧工事請負契約の変更について

資材等の物価高騰に伴い契約変更するものです。

問 増額の要因と財源は。

答 伐採工の面積増加と物価高騰に伴う資材等の単価を補正したための増額で、全て国庫補助の対象になっている。

・農業用施設災害復旧事業（大仁農道）災害復旧工事請負契約の変更について

工事内容の変更に伴い契約変更するものです。

問 約1万3千円増の少額の変更だが、なぜ議決を得る必要があるのか。

答 現場に出す指示の変更が、1件あたり1千万円を超える場合は議決が必要になる。今回の変更は、工事面積の増加等で1千万円以上の増額があったが、新たな残土処分地を確保できたことで、1千万円以上の減額もあり、合計では僅かな増額になった。

（主な予算の審査状況）

・令和7年度雲南市一般会計補正予算（第3号）

① 宿泊・観光消費喚起物価高騰支援事業666万円は、市内での宿泊や飲食、お土産等の購入に利用できる5千円分の観光券を3千円で販売し、市内宿泊者の確保と消費の

拡大を図るものです。



観光券が使える道の駅

問 販売が好調で拡充するが、効果と実績の分析はしているのか。

答 宿泊は清風荘の実績が大きい。15の宿泊施設で販売しているが、動きを十分つかめていない。

状況を確認して分析を進める。

② 農協共販青果物輸送費高騰対策支援事業408万円は、農産物を都市へ運ぶ運賃の高騰による経費増大部分を助成し、生産者の安定出荷の継続を図るものです。

問 今年度限りの事業だが、来年度以降はどうするのか。

答 来年度に向けて、輸送業者のルートを見直す等、現行のやり方をJAと生産者で検討される。

問 JA以外の事業者への支援は行わないのか。

答 今回は、JAと共販する16の団体等から要望があり緊急的に行った。

決算審査特別委員会

委員長 中林 孝

雲南市令和6年度決算認定については、決算審査特別委員会を設置して審議しました。本委員会は、議案2件、認定7件

について、各分科会に委託し、審査を行いました。**（決算の概要）**

一般会計の歳入総額は324億4千万円余、歳

出総額は316億6千万円余となり、差引額7億8千万円余で翌年度へ繰り越すべき財源3億8千万円余を差し引いた実質収支は3億9千万円余の黒字でした。

特別会計4会計の歳入総額は52億円余、歳出総額は51億7千万円余、差引額3千万円余、翌年度へ繰り越すべき財源はなく実質収支は3千万円余の黒字となりました。

一般会計の歳入のうち、市税等の自主財源は78億1千万円余(24.1%)、国・県から受ける交付金など依存財源は246億3千万円(75.9%)です。

内、地方交付税は139億3千万円で歳入全体の42.9%と大きなウェイトを占めています。

普通会計(一般会計・農業労働災害共済事業特別会計)では、財政健全化に基づく財政指標の実質公債費比率が11.1%(前年度比△0.1%)、将来負担比率が88.1%(前年度比△4.0%)

といずれも減少しました。一方、基金の取り崩し等に頼った財政運用が続いています。特に標準財政規模の10%以上が適正とされる財政調整基金は6.9%と低水準が続いています。基金の取り崩しが無ければ一般会計の実質収支は赤字、また、実質公債費比率も引き下げることができません。中期財政計画では厳しい財政見通しが示されています。収支不足を認識し財政健全化を進めていく必要があります。

一般会計・特別会計 決算状況

(単位:円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	32,449,283,036	31,667,939,399	781,343,637
特別会計	5,209,312,208	5,176,129,506	33,182,702
計	37,658,595,244	36,844,068,905	814,526,339

(分科会の概要) 総務分科会

基金の運用では有利な資金運用を求める意見があった他、ポンプ管理事業の繰越について質疑がありました。このポンプは特注品のため年度内設置ができなかったが本年6月、設置が完了し稼働しているとの答弁でした。また、うなんん子育て応援リフォーム事業補助金についての質疑では、多くの方に利用していただくために補助率・補助額の引き下げを検討しているとの答弁でした。

教育民生分科会

生活困窮者自立支援事業の決算額が令和5年度より減少していることに質疑があり、新規相談件数が減少要因である、また、高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業について申請手続きの簡素化、購入限度額の引き上げを求める意見があり、業務の改善や事業の見直しを行うとの答弁でした。保育所施設修繕事業について施設の要望に応えられているか、成果指標

は予算執行率でよいのか、との質疑に成果指標については検討するとの答弁でした。

産業建設分科会

水田園芸拠点づくり事業費補助金では事業の将来性、対象品目について農業を取り巻く環境を見据えた事業の強化、啓発を求める意見がありました。

また、企業誘致が進まないのは担当人材がいなからでは、との質疑に県の企業立地課と連携し主に製造業を中心に対応しているが、雲南地域での人手確保に課題があるとの答弁でした。



決算審査特別委員会の様子

議会と語ろう会についてのご案内



雲南市議会では、開かれた議会を目指し、議会と語ろう会を開催しています。今回のテーマは、大規模な公共施設整備の4事業についてです。どの会場でもご参加自由です。皆さまの声をぜひお聞かせください。



開催日時	会場・議員	開催日時	会場・議員
11月6日(木) 18:30~20:00	吉田交流センター 梶谷佳平、原良太、中村辰真	11月10日(月) 14:00~15:30	鍋山交流センター 矢壁正弘、吾郷希穂、石原忍
11月8日(土) 9:30~11:00	大東交流センター 上代和美、渡辺重光、中林孝	11月11日(火) 19:00~20:30	加茂交流センター 松林孝之、福岡守、廣野祐二
11月8日(土) 10:00~11:30	多根交流センター 安田栄太、竹部貴博、佐藤隆司	11月12日(水) 19:00~20:30	八日市交流センター 原祐二、高橋美佐子、多賀法華

委員会視察報告

委員会視察報告

総務常任委員会

福岡県久留米市 行財政改革の取り組みについて
熊本県八代市 ふるさと納税の取り組みについて
熊本県阿蘇市 道の駅を核とした地域振興について

7月9日から11日に、福岡県久留米市、熊本県八代市、阿蘇市での視察を行いました。

今回は、行財政改革の取り組み、ふるさと納税の取り組み、道の駅を核とした地域振興の取り組みについて現地を視察し、それぞれの街の個性や特色を十分生かした活動を展開されており、得るものも多くありました。

特に、八代市におけるふるさと納税の取り組みについてプレゼンிட்டした担当者の方の熱意と行動力、返礼品開発に対する情熱には大変感銘を受けました。八代市のために自分には何ができるのかを日々考え、その業務に従事するために3年間に渡って異動願いを出



久留米市 行財政改革研修

すなどは、本当に熱い想いがあります。熱烈に希望したふるさと納税の業務に従事してからすぐに結果を出し、納税金額を10倍以上にするなど、すばらしい成果を出しておられます。今年度からは専属の課（室）も新設され、7人体制（正規職員4人、会計年度任用職員3人）にもなったとのことであり、一人の職員が



阿蘇市 道の駅での意見交換

これ程の実績を出すことは本当に市にとって誇れることであります。雲南市においても、このような熱意ある職員を育てて行くことや、やりたい仕事を全力で取り組める体制づくりが必要であることを痛感しました。

また、道の駅「阿蘇」を運営しているNPO法人ASO田園空間博物館についても、やはり担当者の熱い思いと豊かな発想力により、成功を収められています。地域の活性化と外国人観光客を呼ぶための施策と気配りは、大変すばらしい取り組み



球磨村 現地視察の様子

7月14日から16日に、鹿児島県始良市、熊本県球磨村、熊本市での視察を行いました。

不登校児童生徒支援について
家庭教育フェスティバルについて
脱炭素×創造的復興によるゼロカーボンビレッジ創出事業について
フレンドリーオンラインについて
熊本市教育長との意見交換

聞くことに力を入れていきます。昨年度は、新たに民間のフリースクール等との意見交換をされました。また、家庭教育フェスティバルなどで、家庭教育の啓発活動が取り組まれていました。

がされており、単に道の駅を運営するだけでなく、地域全体の活性化や観光

振興までつなげる取り組みをされていることは、大変参考になりました。

教育民生常任委員会

鹿児島県始良市

熊本県球磨村

熊本県熊本市



熊本市 教育長との意見交換

球磨村は、令和2年7月に豪雨災害があり「地域コミュニティの再生と脱炭素のむらづくり」を掲げ、復興に取り組みられています。球磨村森林組合では、森林整備事業に加え、木材の加工、チップ工場での加工・販売、大鍾乳洞「球泉洞」の運営などの森林観光事業、再生可能エネルギーの発電事業など積極的に様々な取り組みがされています。現地では、太陽光発電や蓄電池、木材乾燥設備、乾燥用の木質バイオマス蒸気ボイラーを見学しました。

熊本市では、長期欠席児童生徒への支援の1つ、フレンドリーオンラインは、「心の居場所づくり×学習機会の保障」で社会的な自立ができることを目的に、オンラインで授業に参加することができ、月1回の校外学習やさまざまなアプリを取り入れた授業、カウンセラーとの時間も設けられています。

遠藤教育長とは、学校

の福祉的役割や機能、「Kumamoto Education Week（教育の祭典）」、校則の見直しや学校運営協議会についてなど様々な意見交換をしました。また「できるところが、できることからやる」というお話をされ、できない理由を考えるのではなく、できることから取り組んでいくことが大切だと感じました。

産業建設常任委員会

新潟県三条市 伝統的地場産業の取り組みについて

新潟県上越市 スマート農業の取り組みについて

富山県射水市 老朽空き家対策について

7月7日から9日に、新潟県三条市、上越市、富山県射水市での視察を行いました。

三条市は、三条鍛冶で培われた「伝統の技」と先端技術が調和する金属産業都市となっています。製造業の従業員は数人規



三条市 地場産業の取組研修



上越市 スマート農業研修

模の割合が高く、その事業所の1件当たりの出荷額は約6,300万円と多いことが特徴です。そのため、事業承継は概ね順調で、人材育成に市も積極的に取り組まれており、大変参考になりました。

上越市は、大規模水田農業の先進地です。スマート農業の取り組みも早く、令和元年度から開始され、約20%の担い手への導入実績があります。スマート農業を導入することにより、省力化等の

利点がある一方、導入コストが高いという欠点もあります。市では、「相談窓口」や、「スマート農機等の共有化等」の取り組み、鳥獣被害対策として「スマート捕獲」の取り組みも進められています。大規模地域にも、様々な課題があり、中山間地域においても、関係機関の積極的な支援等と農業者の創意工夫があれば、充分、維持・振興ができると感じました。

富山県射水市の空き家対策は、「人口減少と高齢者独居世帯の増加等」にポイントを置いており、「予防対策」に力を入れ、広報誌、ホームページ、納税通知書での啓発等積極的に行われています。空き家放置は、不審者の侵入や衛生問題等のリスクに加えて、地震や風水害等防災面でのリスクも想定した上で、利活用ができない空き家については、住民が納得できる対応が必要と感じました。

一般質問



9月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

有価証券の 含み損は誰のせい



中林 孝



問 市保有の有価証券の運用状況について伺う。

答 一般会計、企業会計で保有する国債等の多くが金利上昇に伴い含み損を抱えている。ただし、満期償還を原則としており、満期まで保有すれば額面通りに償還されるので最終的に損失は発生しない。

問 満期償還が原則なので損失が出ないとの答弁だが、保有有価証券の中には償還日が令和31年の

もある。実に24年もの先だ。この議場にいる人の多くはだれも責任もって見届けられない。しかも金利は低い。そもそも額面償還と言っても長期間にわたって、この間に金利が上がれば額面記載の金額の価値は下がる。

答 財産運用を行う際、その時点では最善の時期と運用方法と考えた。

問 購入時期は、日銀の物価目標2%や国債の買入れ減額、政府による賃上げ目標3%等により金利上昇は分かっていた筈ではないか。

答 当時、証券会社や金融機関と協議する中で最も合理的な運用方法と判断した。

立地適正化計画に 実行性を



原 良太



問 居住誘導区域内の公共下水道への接続計画を前倒しする等、立地適正化計画を実効性あるものにする必要があるのでは。

答 居住誘導区域への居住を、インセンティブを与えてまで誘導することは、現時点では否定的に考えている。

問 立地適正化計画における居住誘導区域外において宅地の分譲計画（ミニ開発）がされた際の市の対応は。

答 一定規模以上の開発行為には事前届出を要し、調整等を行うことがある。但し、開発の中止や、場所の変更を指導することはない。

問 AIに「雲南市の財政状況は良いのか悪いのか

を教えて」と聞くと「黒字続きで良い」とのこと。本当は良いのではないか。

答 貯金である基金を取崩して予算編成をしているが、取崩した基金の一部しか戻せておらず、資金収支不足が続く。義務的経費増加に伴い、予算編成時の収支不足は拡大している。財政は逆に厳しく、歳出の抑制と改革を進める必要があることをご理解賜りたい。

強みを活かした 観光戦略を



佐藤 隆司



問 中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）が全線開通し10

年になるが、市内への観光光入込客の推移の傾向は。

答 平成24年は96万人、開通後140万人となった。

た。新型コロナウイルスの感染の拡大、旅行スタイルの変化などで約107万人となっている。

問 菅谷たたら山内は、現在防火施設の整備中で令和9年度に完成予定、また加茂岩倉遺跡は、来年は平成8年の発見から30周年、国宝指定から20周年を令和10年度に迎えるため、シティブロモーションの絶好のチャンスと考えるが見解は。

答 来年8年度は、加茂岩倉遺跡銅鐸出土30周年で加茂岩倉遺跡祭りや出土30周年記念シンポジウムなど記念事業を計画し雲南市の古代文化の豊かさを広く市内外に発信をする。

また、菅谷たたら山内は、令和9年度で国重要有形民俗文化財指定から60周年を迎えるため、本市が全国に誇る文化遺産を鉄の道文化圏推進協議会や出雲荒神谷遺跡と連携し情報発信に取り組みたい。

将来の安心のため
危機管理を



廣野 祐二

問 農業における危機管理について問う。

答 稲作の高温耐性品種については検討中。渇水・カメムシ対策については、様々な施策を行ったが、結果はまだわからない。鳥獣害対策は、可能な限り軽減し、サギ対策についても、条件が整えば、駆除の方向で向う。家畜防疫については、国、県の対応も見ながら検討する。

問 最低賃金の上昇について問う。

答 賃金上昇と物価高騰対策は、まずは、国が対策をとるべき。市は、国、県の支援策の周知に努め、関係機関と共に連携する。

問 学校の規模や空調の在り方について問う。

答 少人数教育は、マイナスではない。少人数教育による学力の低下も関連性は見えない。体育館の空調については、検討している。

問 次期一般廃棄物処理の再検討について問う。

答 一般廃棄物の処理に係る責任は、当該市町村が担う。将来にわたって安定的、継続的にごみ処理ができるよう再検討する。

中山間地に合う
スマート農業を



矢壁 正弘

問 耕作面積が狭あいな本市では大規模にはできないが、中山間地に合ったスマート農業もある。本気でやるなら、プロジェクトチームを立ち上げ推進を図るべきでは。

答 現在、雲南農業振興協議会を母体として、視察及び研修等を実施している。当面はこの組織を活用しながらスマート農業の推進を図っていく。



山椒の農産物加工所

問 本市では多くの農産物が栽培されているが、本市ならではの特産物がない。1から6次産業まで通して商品化ができる特産物を考えるべきでは。

答 6次産業化も含め、付加価値を高める取り組みが重要と認識している。起業、創業の支援を含め農業の高付加価値化に向けて取り組んでいく。

けて取り組んでいく。

問 本市では全国に先駆け部活動の地域展開（移行）に向けた検討を進めてきた。少子化が進む中、どこに問題点があったか。

答 前例のない取り組みであり、新たな指導体制への移行、活動のルール作りと大きな問題があった。今後も課題解決に向けた取り組みを継続的に検討、実施していく。

図書館職員の
処遇改善に向けて



石原 忍

問 市立図書館の運営はキラキラ雲南に業務委託をされている。その市立図書館の職員の処遇について、キラキラ雲南で働く職員の中でも相当低い賃金体系になっており、他の職員とは別の給料表

答 一般の職員と図書館の職員の給料表の取扱いが異なっているということは承知しているが、キラキラ雲南は民間企業であり、給料表の水準について、具体的な言及は差し控える。

が用いられている。市長は、この実態を把握しておられるか。また、把握しておられるとすれば、どのように考えられるのか見解を問う。

答 一般の職員と図書館の職員の給料表の取扱いが異なっているということは承知しているが、キラキラ雲南は民間企業であり、給料表の水準について、具体的な言及は差し控える。

問 図書館職員の処遇改善は早急に図るべきであり、処遇改善に必要となる人件費相当額を委託料に上乗せするなど、市立図書館の開設者として責任ある対応をすべきと考えるが見解を問う。

答 処遇の在り方については当該団体で適切に判断されるものと認識しているが、委託料、予算の積算において受託者側としつかりと意見交換をしながらか対応していく。

持続可能な
雲南市の舵取りを



福間 守

問 今後も人口減少が進む。持続可能な自治体運営となるか。

答 あらゆる努力を行う中で収支不足の縮減を図り、この解消を達成することで健全な財政運営に近づけると考えている。不必要な事業はない中で、市民の皆様のご理解、ご協力も得ながら、できる限り効果的、効率的な事業運営を進め、何とかじわりじわりでも良くしていくことが大事で、そうしてできた財政基盤を基に「えすこな雲南市」をめざした取り組み、持続可能な自治体運営につなげていきたい。

問 行財政改革を推進すると言うが、事業の縮小、廃止が進むのか。

答 既存事業の見直し。改善はもちろん、その必要性や効果、優先度を踏まえて、縮小や廃止を進めなければならぬ。一方で、人口減少や高齢化によって、市民生活に直結する、待ったなしの課題もますます増えていくので、職員一人一人が常に改革の意識を持ち、スピード感を持って見直し、改善に努めていく必要がある。



雲南市独自の
誘客戦略を



竹部 貴博

問 雲南市独自の古代史等と宿泊施設を連携させたツアーや講演会の企画及び集客、それに伴う中心市街地の環境整備は。

答 観光協会と情報共有をして、進めていきたい。



除草が必要な歩道

また、水路の土砂の除去、歩道の除草は順次進めていく。

問 企業、学生向けの研修、スポーツ大会及び合宿誘致の市独自の方針と支援策は。

答 市有施設の活用を中心に積極的に進める。市独自の資源の活用、施設整備も検討する。

問 道の駅や商業施設と併設したドックラン整備の可能性は。

答 課題である運営管理や環境整備の体制を整えることができれば、実現に大きく前身する。

問 国スポに向けて、市内で活躍する競技者への支援体制は。

答 公共施設の使用料減免、派遣費及び用具費助成等に加え、女子ソフトボールチームへの支援を始め、国スポ後も長期にわたる体制維持のため支援を検討する。

他 最低賃金上昇に伴う事業者支援の質問。



最低賃金上昇に
伴う対応



梶谷 佳平

問 最低賃金上昇での市内事業者支援策は。

答 最低賃金の引上げ対策は、基本的には国・県が行うべきものと思っているが、市の対策は「中小企業等物価高騰対応支援事業」がある。この制度は、事業者自らが売

上・利益確保の活動や生産性向上に対して経費の一部を助成する制度であり、9月補正で人件費高騰対策を盛り込んだ。当制度を利用し利益確保を図り、人件費等の原資としていただきたい。

問 物品調達に積極的に市内事業者からすべきでは。

答 市内事業者で取り扱える品物については、市内事業者を優先し、入札参加条件の設定を行っている。指名も同様に行っているが、いま一度徹底を行いたい。

問 公共工事における人件費の転嫁はされているか。

答 市が発注する建設工事等は、鳥根県建設工事積算基準により最新の単価を使用。また、長期契約に係る期間中の単価変動にはインフレスライド申請により基準日以降は積算単価の見直し・金額の変更契約が可能。

教職員等による
盗撮防止対策



高橋美佐子

問 全国的に教職員等による学校現場での盗撮事案が発生しているが、雲南市ではそのような事案はないか。また、教職員への指導・研修・教育や盗撮防止対策はどのようなしているか。

答 雲南市では、教職員等による盗撮事案の発生は確認されていない。教職員への指導・教育については、毎年度、研修や職員会議を通じて児童生徒への性暴力等の根絶に向けた取り組みを徹底している。具体的には、教職員一人ひとりに当事者意識を持たせるため、性暴力の現状や被害者等と与える影響について、研修を通じて理解を深めるようにしている。

盗撮防止対策としては、各校において携帯電話の使用方法やプライバシーに配慮した写真撮影、撮影したデータの保存についてのルールの徹底を図っている。児童生徒に対しても、被害に気づいたり嫌なことをされたり相談することを指導している。教育委員会としても早期発見のために、性暴力に絞ったアンケートの実施を予定している。

図書館について



多賀 法華

問 今年の5月、慶應義塾大学・京都大学の研究で図書館や図書館の蔵書数が多い自治体ほど、その自治体の要介護高齢者が少ないことが報道発表された。図書館の価値を



生涯学習の拠点となる図書館

どのように捉えているか。

答 図書館は学習に必要な図書や情報収集、整理提供する身近な社会教育施設で、地域の知の拠点として市民の学びを支える基盤。また、子どもから高齢者まで幅広い利用者の学習機会や読書活動を広げ、様々な情報サービスの提供を通じ、教育の普及と生涯学習の推進に寄与するものである。

問 全国的に給料が安くても、待遇が悪くても、

図書館で働きたいという気持ちに乗っかって何とか図書館運営が成り立っている状態や、やりがい搾取のような傾向を問題視している専門家もいる。市の図書館の民間委託もコスト削減、人件費削減が目的ではないか。図書館の価値について改めて考えていただきたい。市長の図書館の評価は。

答 まさに、知の拠点、地域の生涯学習の拠点で、大切な施設である。

多文化共生社会
実現のまちを



上代 和美

問 先に行われた参議院議員選挙で、日本人ファーストや排外主義を前面に掲げた政党が議席を伸ばした。「生活保護で外国人は

優遇されている」、「外国人が増えたから犯罪が増えた」など事実ではなく、また、データに基づかない言説で排外主義をおおることは、市が取り組もうとする多文化共生プランの「外国人が安心して生活できる環境づくり」と相反するのではないかと私は全ての人の人権が守られ、安心して暮らせるまちにしていかなければならないと思っているが市長の見解を伺う。

答 外国人であるということのみをもって排除するのではなく、相互理解を深め、お互いを尊重し、共生していくことが必要不可欠である。第3次総合計画や多文化共生推進プランなどに基づき、外国人住民等もまちづくりに主体的に関わることができることを基本に、それぞれの文化や背景を尊重しながら、安心して生活でき、さらに活躍できるまちを目指して取り組みを進めていく。

災害支援自販機
設置拡充を



安田 栄太

問 災害時の飲料確保を目的とする災害支援自販機が、飲料メーカーと協定を結び本市に設置してある。現在、市内に21台設置してあるが、設置場所の基準は何か。

答 災害時の物資集配拠点の市役所本庁舎と各総合センター、指定避難所や市民体育館等に設置してある。設置者の企業者側は、普段からある程度の売り上げが見込める場所が基準だ。双方が協議して、合意した場所に設置する。

問 普段の売り上げが見込めない地域は、災害時に孤立する可能性が高い地域であり、災害時の安心のためと普段の生活の利便性向上のために、支

援してでも設置するべきと考える。拡充する考えはないか。

答 未設置の指定避難所に追加設置したい考えはある。必要に応じて設置業者と協議したい。設置がかなわない場所については、飲料水を配置する等、ほかの手段も考えられるので、現時点では設置に対する支援は考えていない。

部活動時の
熱中症対策は



中村 辰眞

問 文部科学省は学校教育等における熱中症事故の防止について、活動の場所や種類にかかわらず、暑さ指数に基づいて活動実施を判断することとしている。これに基づけば暑さ指数を測定し記録を

つける必要があると考え。そのような機器が各学校あるのかどうか伺う。

答 暑さ指数計については、市内全ての小中学校に設置している。また多くの学校で複数の暑さ指数計を所持しており、暑さ指数を屋内外の活動を行う際の基準にし、熱中症の予防に努めている。

問 炎天下のグラウンドを幾度も走らされることがあると聞く。保護者からはその行為について、疑問視する声もあるが見解を伺う。

答 炎天下では、熱中症対策を含め最善の安全配慮が必要であると考えている。活動の時間、走る距離、活動が体に与える負荷など様々な観点から活動内容を検討する必要があると思う。全ての活動において最優先されることは、生徒の安全確保であると考えている。

選択的夫婦別姓制度の議論の促進を求める意見書（抄）

民法は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する。」とし、我が国では夫婦同姓制度が採られている。このため、婚姻に際しては、夫又は妻のいずれか一方が改姓しなければならないが、改姓に当たっての不便さ、不都合、不利益などの負担が女性に偏っている現状がある。

平成8年、法制審議会は、夫婦が望む場合にはそれぞれ旧姓を称することを認める「選択的夫婦別姓制度」の導入を内容とする「民法の一部を改正する法律案要綱」を法務大臣に答申したが、改正案の国会提出には至らず以降、法制化に向けた議論は長年にわたり平行線をたどっている。

日本経済団体連合会は、政府への提言の中で「女性活躍を阻害する社会制度の課題」の1つとして、夫婦同姓制度は見直しが必要としたところである。

よって、国においては、多様性を認める社会、男女共同参画、基本的人権の尊重の観点から、家族の一体性や戸籍制度などとの整合を図りつつ、選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた積極的な議論を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年9月29日

島根県雲南市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）、女性活躍担当大臣

島根県市議会議長会 議員研修会

副議長 原 祐二

県下8市の市議会議員（162人）を対象とした研修会は、出雲市・朱鷺会館で開催され参加しました。

研修会では、今年7月に総務省総務事務次官に就任された、原邦彰氏から「持続可能な地域行政の在り方」について講演いただきました。

原事務次官は、旧自治省に入省以来38年間、地方の立場で仕事をすることを信念とされ、和歌山県副知事や自治財政局長、消防庁長官など総務省の要職に携わられた地方自治のスペシャリストです。講演では、原事務次官の総務省での経験と私見を交えた、政府・省庁の多岐にわたる今後の政策、当面の経済財政運営と令和8年度予算編成に向けた考え方、人口減少を前



提とした政策（まちづくり）と国県市町村の役割分担のあり方（見直し）についてご教授いただきました。

今後の行政運営では、人口減少を見据えたワイズ・スペンディング（賢い支出）が必要であり、我々議員の判断に求めると強く感じました。

【お詫びと訂正】

広報紙「市議会だより 雲南78号」の掲載内容の一部に誤りがありました。次のとおり訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

○訂正箇所

市議会だより 雲南78号 14ページ 議会と語ろう会、木次会場の文章

○訂正内容

（誤）現在の**減災基金**や財政調整基金残高で市政運営ができるのか。

（正）現在の**減債基金**や財政調整基金残高で市政運営ができるのか。

限られた財源と人材の中で、デジタル技術を活用し、行政運営の効率化を図り、地域住民の多様なニーズに応えながらも持続可能な行政サービスを提供し続ける取り組みの重要性を再確認しました。

請願・陳情の提出について

12月定例会の請願・陳情は12月3日（水）17時までに、議会事務局へ提出してください。

上記の受付期限を過ぎた請願・陳情は、3月定例会での審査となります。

編集後記

「暑い」ということばがいさつから離れなかった夏も終わり、最近では朝方には布団がなくて目が覚めるようになりました。

米や野菜などについて暑さ、水不足のため、生産量や品質の低下などが新聞で報道されています。今年のような夏が毎年続くと、暑さに強い野菜、水稻の品種転換、かん水設備の導入などの課題がわれわれのまわり逼迫してきているように思います。

また学校や体育館などを含め公共施設での冷房設備は勉強、地域活動をしていく上で、今後はかせない設備と変わります。

話題は変わりますが九月十三日地元八重山神社の秋例大祭がおこなわれました。祭りが土曜日、日曜日に重なった時には囃子奉納をおこなっています。春例大祭は大雨で中止になりましたが、今回は天候に恵まれ岩窟に建つ八重山神社に囃子を奉納し、参拝しました。杉木にかこまれ、川の水音を聞きながら夏の暑さを忘れ、心身ともに清らかな気持ちになりました。

（渡）

議会広報広聴 特別委員会

委員長 多賀 法華
副委員長 原 良太
委員 吾郷 希穂
石原 忍
廣野 祐二
渡辺 重光
佐藤 隆司
原 祐二